



1 仙台市青葉区米ヶ袋で建設が進んでいる地上5階建ての学生向けマンション。
 2 新入社員と管理職の距離感が近い風通しの良い職場環境も魅力の一つ。経営陣と触れ合うことで、社会人としての新たな知見を得られるという。

豊かな未来の創造を目指し、宮城を元気にする多様な事業を展開



会社情報

■設立 1950年6月
 ■代表 竹田 隆
 ■資本金 2,000万円
 ■従業員数 103人(男67人/女36人)

〒984-0075
 仙台市若林区清水小路8
 マルタマファイブリッジ3F(本社)
 TEL/022-227-1341
 FAX/022-262-7325
<https://www.maru-tama.com/>

求人情報

■初任給 220,000円～
 ■福利厚生 雇用、健康、厚生年金、労災保険/役職手当、給食手当、家族手当、通勤手当、住宅手当、残業手当、深夜残業手当、単身赴任手当
 ■休日休暇 【本社】年間101日
 【店舗】月7日シフト制
 ■職種 総合職(店舗スタッフ、事務スタッフ、本社スタッフ)
 ■インターンシップ受け入れ/あり ■大学生アルバイト受け入れ/あり
 ■採用担当者連絡先/TEL022-227-1341(佐々木広輝)
 ✉h.sasaki@marutama.co.jp

■CORPORATE RESEARCH 採用ページはコチラから

会社案内請求
 自社説明会
 会社見学

■採用までの流れ
 ① 会社説明会参加
 ② 一次面接参加
 ③ 職場見学・先輩座談(希望者のみ)
 ④ 適性テスト受検
 ⑤ ES提出
 ⑥ 二次面接参加
 ⑦ 内々定



マイナビ リクナビ

採用活動と人材育成を担当する「HR(ヒューマンリソース)開発センター」。社員の成長を促す環境づくりなどに努めている

地域や人との触れ合いを大切に、自分自身を磨いていく



8



9

8 老人ホームや介護施設への訪問活動のほか、地域清掃やイベント出店などさまざまな地域貢献活動を展開している。
9 娯楽提供という大前提に立ち、「パチンコは地域を元気にするための一つの手段です」と語る竹田隆代表取締役社長。



7 「採用活動で結んだ縁を大切にしています」と佐々木広輝さん（写真左）とHR開発センターの鈴木貴弘さんは声を揃える。

新入社員もプランニングに参加し、アイデアを出すなど活躍している。同マンションには、「宮城の将来を担う人づくりを通して、地域に恩返しをしたい」という想いも込められている。また、同社では地域貢献活動も積極的に推進。老人ホームや介護施設でのリハビリを兼ねた出張パチンコ大会などを行う「宮城元気のわプロジェクト」をはじめ、定禅寺ジャズフェスティバルでは宮城の旨いものを販売するブースを出店。「心をつなぐ若林サイドマラソン」や「音のわフェスティバル」を開催するなど幅広い活動を展開し、新たな地域の「わ」を広げている。

企業理念を共有し 未来を担う仲間を求む
風通しの良い職場環境が魅力の同社では、入社後の充実した研修制度はもちろん、新入社員が現場でスキルを発揮しやすいよう、きめ細かなフォローを実践。山田店にあるイノベーションセンターには遊技台の扱いを学べる研修ルームやスタディールームなどを設け、社員の自己啓発を後押ししているほか、導入研修や階層別研修を幅広く実施。お客さま一人ひとりに向き合う接遇力の向上などを図っている。また、業務面での疑問など、あらゆる相談にHR開発センターがマンツーマンで対応し、社員の成長を後押ししている。Web環境の変化などにより人々のライフスタイルや余暇の過ごし方が多様化している現在、「地域のために何ができるのか。今こそ真価を問われていると考えています」と竹田室長は語る。豊かな宮城の実現に向けてまい進する同社では、「『誰かのために頑張りたい』『地域社会に貢献したい』と本気で思える学生の方々と出会えることを期待しています」と佐々木センター長が語るのとおり、ともに未来を担える人材を広く求めている。

しみ家族と喜びを分かち合うもので、「宮城を元気づけたい」というモットーどおり、多くの人々に笑顔をもたらしている。射幸性を高めた営業スタイルが主流となっている昨今のパチンコ業界においても、「訪れた人々の心が温まるような地域のコミュニティ空間を提供したい」という信念を揺らぐことなく継続。「パチンコは理念達成のための手段であり、『地域を元気づけ、豊かにする』というゴールは創業以来変わっていません」と佐々木広輝センター長は語る。

創業70周年を迎えた『マルタマ』。創成の地である宮城では、パチンコの「まるたま」として親しまれている。同社の礎になっているのが創業者の熱き想いだ。第二次世界大戦の終戦間際、仙台大空襲で一面焼け野原と化した宮城。その時の悲哀に暮れる人々の様子が原風景となり、「宮城に活気をもたらす、宮城を元気づけたい」という創業者の信念が生まれ、「地域に人々が集える娯楽の場を提供したい」という想いからスタートしたのがパチンコ業だった。当時のパチンコは、少額で楽

しみ家族と喜びを分かち合うもので、「宮城を元気づけたい」というモットーどおり、多くの人々に笑顔をもたらしている。射幸性を高めた営業スタイルが主流となっている昨今のパチンコ業界においても、「訪れた人々の心が温まるような地域のコミュニティ空間を提供したい」という信念を揺らぐことなく継続。「パチンコは理念達成のための手段であり、『地域を元気づけ、豊かにする』というゴールは創業以来変わっていません」と佐々木広輝センター長は語る。

現在、同社では学生向けマンションの建設など不動産業にも注力。「培ってきた空間づくりのノウハウを生かし、一風変わった学生向けマンションの建築を進めています。生活スタイルにあわせて選べる多彩なルームパターンや充実のコミュニティスペースを用意し、居住するだけでなく触れ合いを通じて学びあえるワークするような空間となっています。完成後には当社スタッフやパートナー企業による講演会なども企画しています」と取締役経営企画室長の竹田恵理子室長は笑顔で語る。



1 順調に建設が進んでいる学生用マンション。完成予定は2020年3月。地元の将来を担う学生たちの入居が待たれる。

理念実現の選択として 終戦後パチンコを提供

不動産業に注力し、地域貢献活動も推進

若手社員に聞きました
うちの会社のココが好き!ココがビックリ!

創業からの想いを 継承し続けています
創業してから70年もの間、信念からブレることなく現在に至ることは容易なことではありません。社長をはじめ携わる方々の覚悟を感じます。

一人ひとりに手厚い サポート体制です
とにかく人にかける想いが強く、お互いに気にかける社風です。ライフワーク問わず真剣に向き合ってくれる人事や仲間が囲まれています。

地域社会との強い つながりを持っています
地域活動はもちろんですが、お客様が日常的に来店される店舗では、「こんなに身近な存在なんだ」とあらためて感じます。

アットホームな社内 風土が成長を促します
経営陣や管理職との距離が近く、新しい価値観や考えに触れる機会が多くあります。こんなに成長を感じられる職場はそう多くはないと思います。

地域のお客様と 長きにわたるお付き合い
家族三代で通ってくださっている方がいらっしゃるくらい、お客様には長くご愛顧いただいていることが多いです。

未来を見据えた 経営戦略は圧巻です
パチンコは理念実現のための手段に過ぎず、豊かな宮城を実現するには？ が行動の指針です。会社の柔軟な考えのもと安心して働いています。

レジャーを追及する 営業スタイルです
「来店される方々の心が温まるような地域のコミュニティ空間を提供する」。だからこそ、他にはないこだわりがあります。これも創業からの想いです。

テレビ番組で 取り上げられました
何かと誤解されやすい業界ですが、お客様各々が自分の真の居場所として利用されている様子を、NHKに取材していただきました。当社だからできたこと。



6 「創業からの想いは変わっていません」と同社の情熱について熱く語るHR開発センターの佐々木広輝センター長。



4 「完成後は社内のワークショップなども予定しています」と語る取締役経営企画室室長の竹田恵理子さん。
5 意思の疎通を図るため、建築を請け負っている会社や工務店のスタッフとも綿密な打合せを重ねていく。



2 学生用マンションの内装についてパースなどを見ながら検討。活発な雰囲気の中、意見交換がなされている。
3 110室を備える学生用マンション。住む人のライフスタイルに合わせ、約10種類の多彩なタイプの部屋を用意している。